

IP Newsletter

Newsletter

15 June 2026

本アラートに関する
お問い合わせ先：



竹中 陽輔
パートナー
03 6271 9548
Yosuke.Takenaka
@bakermckenzie.com

IP Newsletter Vol. 18

IP Newsletterでは、ベーカーマッケンジーのグローバルネットワークを活かし、世界での知的財産権に関連する近時リーガル・ニュースをピックアップし、毎月配信いたします。詳しくは各記事の見出しをクリックの上ご覧ください。本ニュースレターが皆様のお役に立つ情報となれば幸いです。

中国：2025年中国最高人民法院 10大知的財産事件（第1回：1～5件）

2026年4月20日、中国最高人民法院は「2025年人民法院知的財産権典型事例」を公表した。本アラートでは、代表的な10件を2回に分けて紹介する。第1回は事例1～5である・・・

シンガポール：小売業者に対する知財侵害請求を棄却

黙示的ライセンスの成立と「根拠のない警告」の判断

2026年4月10日、シンガポール高等法院は、The Beauty Nation Pte. Ltd.（原告）が Herbs Health Ben Cao Kang Mu Pte. Ltd.及び TCM Shop SG Pte. Ltd.（被告ら）に対して提起した著作権侵害、商標権侵害及びリバース・パッシングオフ（reverse passing off）の各請求を棄却した。本件は、知的財産紛争のための簡易手続（Simplified Process for Certain IP Claims）に基づき審理されたものである・・・

米国：重要商標判決紹介（2025年）—消費者による異議申立ての限界

「RAPUNZEL」事件：CAFC判断を最高裁が維持（certiorari 却下）

2025年5月22日、米国連邦巡回控訴裁判所（Federal Circuit）は、Curtin v. United Trademark Holdings, Inc.事件において、玩具・人形を指定商品とする「RAPUNZEL」商標の登録に対し、消費者が行った異議申立てについて、Lanham Act §1063に基づく法定の申立適格を欠くとして、商標審判部（TTAB）の判断を支持した・・・